

栗 東 市

提供年月日	令和8年6月5日
担当部署	教育部 学校教育課

資料提供

タイトル (事業名等)	栗東の部活動地域展開の本格始動について
概要	<p>【内 容】</p> <p>栗東市では、中学校部活動において、部活動地域展開を本格的に始動しました。</p> <p>令和7年度末までを「体制作り強化期間」と位置づけ、運営体制や登録システムの構築、受け皿団体や指導者の確保に取り組んできた結果、現在では、6つの団体が認定地域クラブとして活動しています。</p> <p>令和8年1月には、市内の地域貢献団体（栗東ロータリークラブ）が中心となり、地域の個人や団体に賛同を募り、資金面の援助を目的とする、「栗東市中学生地域部活動サポーターズクラブ」を立ち上げました。おそらく県内は元より全国的にも大変珍しい試みです。</p> <p>市と地域貢献団体が協働した、部活動の地域展開の取組を発表するとともに、補助を受けた地域部活動クラブの活動を紹介いたします。</p> <p>【日 時】令和8年6月23日（火） 15：30～</p> <p>【場 所】栗東市役所 危機管理センター2階 防災研修室</p> <p>【対象・参加人数】 市長、教育長、栗東ロータリークラブ、サポーターズクラブ、認定地域部活動クラブの各代表</p>
資料の有無	有

1. 地域展開の課題

国が進める休日中学校部活動の地域展開に向けて、本市では、指導者・受け皿団体の確保、活動場所確保、指導者報償のしくみづくり、大会参加の障壁の解消などの課題に取り組んできました。その結果、地域部活動クラブの数も、令和6年度には1団体、令和7年度には3団体、令和8年度現在では6団体まで増えました。

しかし、「保護者の負担」の問題が残っていました。地域部活動クラブの活動には、立ち上げに係る広報や用具購入などの経費、またその後の備品・消耗品などの経費が必要となります。そうした費用をすべて保護者に転嫁すれば、学校部活動に比べて保護者負担の増加は避けられません。

そうした課題の解決に向けて動き出したのは、市内の地域貢献団体である栗東ロータリークラブでした。同クラブは、保護者負担を軽減し、すべての子どもが活動機会を得られる仕組みづくりにむけ、賛同する企業や市民等（サポーター）から継続的に寄付を集め、地域部活動クラブに分配する仕組みとして、基金運営組織の設立に取り組みしました。

そして、今年1月に、市内の地域貢献団体やスポーツ・文化振興団体から選出された理事会が開催され、「栗東市中学生地域部活動サポーターズクラブ（以下、「サポーターズクラブ」）が誕生しました。

2. サポーターズクラブの基本的な機能

資金面で地域部活動クラブの活動を支える「サポーターズクラブ」の機能は、次の「集める」「つなぐ」「届ける」の3つです。

集める	①地域貢献団体等を通じて、継続的（毎年1回）支援をいただける企業・団体会員、個人会員を募集（先行募集）
	①HP等を通じて、本会の主旨を広く周知し、会員募集 ②継続的には無理でも、この事業の活動目的に賛同していただける企業・団体・個人からの寄付を募集 ③寄付金の受領
	①地域部活動事務局が発行する「地域部活動通信」に、支援いただいた団体や個人、また地域部活動クラブの活動状況を掲載
届ける	①地域部活動クラブの立ち上げに必要な用具（備品・消耗品）購入の助成（1団体1回限り） ②日常の活動に必要な用具（ボール・材料等の消耗品）の購入に対する助成 ③指導者の報償に対する助成

3. 「地域部活動サポーターズクラブ」の会員募集の始動

理事会に参加いただく地域貢献団体やスポーツ・文化振興団体等を通じて、本年度4月から試行的に進めてきた「先行募集」を終え、いよいよ6月から、市民に向けて賛同いただける会員募集をスタートします。